

## 2015年度(第45期) 3学期終業式の学長挨拶

学生の皆さん・講師の先生方、お早うございます。皆さんは、今日で第45期の3学期の終業です。3学期は今年度の学習の総まとめをする学期でした。1年間、頑張ってきた学習は、成果を挙げる事が出来たでしょうか。

教科やクラブによっては、対外的なフェスティバルや大会に出演されたり、作品展へ出品し受賞されたりした方もありました。その一部となりますが、老大ニュースの修了式特集号などでご紹介いたします。

また、1年間一緒に学んだ友情を確かめ合い、講師に感謝し、新年度に向けて新たな意欲を高め合うために、お別れ会を催されたクラスも多くありました。

いつもの授業とは違う形ですが、講師の思いを聞いたり、学生同士が交流したりすることは、広い意味で、今年度の最後の授業として、意義あることだったと思います。

今年も、4年連続で福山市医師会看護専門学校生42名が、7名ずつ6日間に分かれて教育実習に来られ、将来の看護活動に活かすために老大生の元気の秘訣を学んで帰られました。看護学生に色々な話を聞かせてあげてくださった方、ありがとうございました。

3学期は、来年度の準備をする学期でもありました。1月のオープンスクールは、新規入学希望者はもとより、現役学生の皆さんに他教科・他クラスを参観していただく機会でありました。

そうした取り組みを受けて、1月25日から2月26日までを受付期間とした新年度の入学手続きでは、新規学生309名を含む2632名の申請をいただいております。

今年度全体を振り返っての反省は、3月10日の修了式で述べさせていただきますが、健康を損なって老大に通えなくなる方が増加傾向にあることを考慮して、来年度は、体力づくりに直接繋がる教科や活動を重視し、大学運営の合言葉も、これまでの「健やかに・穏やかに・和やかに」から「健やかに・健やかに、そして穏やかに」に改めていきます。老人大学を、皆さんの健康づくりと遣り甲斐づくりの場として一層充実させていく考えを申し述べ、3学期終業のご挨拶といたします。